

令和2年度 学校自己評価表(最終)

岩美町立岩美南小学校

教育方針	◆磨こう自分(個別の知識・技能の向上) 自分の力を信じ、学習や運動、生活など、基礎・基本をしっかり身に付けている子ども ・基礎的、基本的な知識・技能 ・凡事徹底(あいさつ、返事、くつそろえ、もくもくそうじ) ・語彙力、読書活動 ・健康、体力づくり ◆仲間と共に(思考力・判断力・表現力等の向上) 友達と力を合わせ、学習したことを使って、主体的・対話的で深い学びをする子ども ・自分で考え、表現する ・学び合い ・学校が楽しいと感じられる学級・学習集団 ・縦割り班を活用した主体的活動 ◆未来に向かって(学びに向かう力・人間性等の育成) 学習したことを社会と結び付けたり、社会に生かそうとする子ども ・地域の「ヒト・モノ・コト」とのつながりを重視した体験活動 ・持続可能なコミュニティをイメージできる児童づくりに努め、ふるさとを誇りに思う心情を育てる。 ・カリキュラム・マネジメントの視点を活用して教育活動を捉え直し、共通の目的をもつことでさらなる充実を図る(ESD) ・学習指導要領の全面实施にともなう教育内容の改善	教育活動の重点 ◆磨こう自分(個別の知識・技能の向上) ・聞く、話す、書く「ビタ・ピン・トン」等学習規律の定着に努める。 ・計画的な家庭学習と予習を生かす授業づくりに努める。(生活ノート、算数科の問題視写) ・間違ひ問題を活用した自主学習の推進に努める。 ・マニュアルに沿った「もくもく掃除」に努める。 ・学習のUD化を意識し、わかりやすい授業づくりに努める。(教室環境、ICT、板書、学習の流れ 等) ・各種学力テストやアンケート等の数値を具体的な指標とし、学力向上のための取組の改善に生かす。 ・少人数指導(ゆるやかな習熟度別)、個別指導の充実にも努める。 ◆仲間と共に(思考力・判断力・表現力等の向上) ・授業のタイムマネジメントを意識し、適用問題を解くこと中心の学習展開に努めるとともに、算数科における授業スタンダードの作成、実践に努める。 ・タブレット端末やパソコンを活用した学習展開に努める。(プログラミング的思考) ・理由や根拠を明確にした表現を重視し、合意形成力の育成に努める。 ◆未来に向かって(学びに向かう力・人間性等の育成) ・8時間～10時間未満の睡眠時間の確保に努める。(スクラム教育) ・地域社会とのつながりを意識した学習展開や学校行事に努める。(生活科、社会科、総合的な学習の時間を中心に、米、梨、野菜、歌 など) ・プログラミング的思考を取り入れた授業実践に努める。(算数・理科を中心に) ・カリキュラム・マネジメントの視点を取り入れた教育活動に努める。(ESD) ・外部講師による校内研修や授業研究会(一・人一年1回以上)、研究会参加等により、授業力向上を図る。 ・コミュニティ・スクールについての校内研修に努める。

教育活動の重点	めざす児童像	重点目標	努力事項・具体的方策	到達目標	評価基準	評価（A:80%以上 B:79～60% C:59～40% D:39%以下） 上段…前期・下段…後期									総合評価	成果と課題	来年度に向けての改善策
						児童			保護者			教職員					
						アンケート項目	割合	評価	アンケート項目	割合	評価	アンケート項目	割合	評価			
磨こう自分（個別の知識・技能の向上）	『磨こう自分』 自分の力を信じ、学習や運動、生活など、基礎・基本をしっかり身に付けている子ども ○自分で考え、表現する ○凡事徹底（あいさつ、返事、くつそろえ、もくもくそうじ） ○語彙力、読書活動 ○健康・体力づくり	学習ルールの定着	南小版「学習ルール」を活用し、保・小・中の連携を図りながら、学年に応じた学習規律の定着を図る。	友達や先生の話をも最後まで聞くことができる。	話を最後まで聞くことができる。（児・保・教80%）	友達や先生の話をも最後まで聞くことができた。	92	A	お子さまは、話す人を見て最後まで話を聴いている。	66	B	児童は、話す人を見て最後まで話を聴いている。（聴き名人）	74	B	B	・「聞く」の規程が児童と教職員で違うのではない。 ⇒児童は「話し手を見ていれば」よい。教職員は「内容を理解できる」ところまで求める。（3年） ・児童は形で判断し、教職員は反応を見て判断している。 ⇒内容までは聞き取れていないと感じている（5年生） ・形ができていればよいにしているが、長時間は苦しい。（1年） ・児童は耳に届いているからでできるになっているが、教職員から見るとなすくなどの態度に表れていないのでできていないという判断。（4年）	・子どもたちが聞きたくなる話し方や内容を考えているか振り返る必要がある。 ・話の聞き方のトレーニング、ワーク等をしていく。 ・聞く態度（うなずく等）を具体的に絞り、重点化してステップアップしていく。
							94	A		72	B		50	C			
			正しい姿勢（ビタ・ピン・トン）で聞くことができる。	正しい姿勢（ビタ・ピン・トン）で聞くことができる。（児・保・教80%）	「ビタピン・トン」を意識して、相手を見て話を聞くことができた。	80	A	お子さまは正しい姿勢で学習している。（参観日等）	—		児童は、正しい姿勢（ビタ・ピン・トン）で聴くことができています。（姿勢名人）	63	B	B	・子どもの準備ができてから話すようにしている。 ⇒意識できるようになってきた。（5年） ・「ビタピン・トン」のことが定着している。	・自分で意識できるようにステップアップすることが必要。 ⇒聞くときだけでなく、書くとき等も意識し、姿勢の保持ができるように訓練していく。	
									82	A		73	B				
		家庭学習の充実	町での取り組みを実践し、家庭学習の充実を図る。	計画的に家庭学習を行い、学年に応じた自主学習をすることができる。	学年の目安の時間を守って、家庭学習をすることができる。（児・保・教80%）	家庭学習の時間を守って、学習することができた。	家庭学習の時間を守って学習している。	86	A	62	B	児童は、目安の時間を守って、家庭学習に取り組んでいる。	82	A	B	【家庭学習の時間】 ・連絡ノートに書くことがよい。 ・目安の時間でできるように課題を出すようにしている。 ⇒そのため、毎日自主学習をするのは難しい。 【自主学習】 ・質問項目を代えたことがよかった。 「苦手を克服する」⇒「自分の課題に合った」 ・宿題が早くできる児童はほぼ毎日している。また、テスト前などにまとめや自分の課題に向けてできる児童が増えている。 ⇒個人差は大きくなっている。（5年） ・学習するためのもの（学習）でなく、提出するためのもの（作業）になってしまっている（6年）	・自主学習については、もっと丁寧な指導が必要（時間の使い方、目的等）
								84	A	62	B		83	A			
			自分の課題に合った自主学習を進んですることができる。（児・保・教80%）	自分の課題に合った自主学習をすることができた。	61	B	自分の課題に合った自主学習をしている。（3年生以上）	55	C	児童は、自分の課題に合った自主学習に取り組んでいる。（3年生以上）	56	C					
								85	A	63	B						
		基本的生活習慣の定着	「もくもく掃除」の充実を図る。	マニュアルにしたがって、黙って掃除場所をきれいにすることができる。	マニュアルにしたがって、黙って掃除をすることができる。（児・教80%）	そうじ時間はだまって、正しいそうじの仕方ですうじをすることができた。	87	A					95	A	A	・教師が見ていないときできない。（5年） ・ある程度はマニュアル通りにできるが、済のごみを見つけてきれいにするなどのことはできていない。（6年） ・よく働くので、いつもほめるようにしている。「今日もくもくができた人？」だけの振り返りをしている。（2年）	・委員会が動くことも必要だが、高学年に任せるだけでなく、低学年もできることがあるので、子どもたちに考えさせたい。 ・マニュアルの再確認。
													82	A			
	あいさつの習慣化と防犯意識の向上を図る。		自分から進んであいさつができる。	自分から進んで、3人以上あいさつすることができる。（児・教80%）	朝、学校で自分からあいさつをすることができた。	81	A					82	A	B	・朝教室に入るときはできているが、廊下ではしていない。また、自分からあいさつで着る児童は少ない。（1年） ・「自分から進んで」はハードルが高いのではないか。	・あいさつ運動への反応は良いので、「あいさつを返す」を目標にしてスマールステップで進めていくのもよいのでは。 ・具体的に「〇人あいさつできたか」などの目標を立てて習慣化を図る。	
												89	A				
学習のUD化	わかりやすい授業づくりに努める。	学習の流れを意識して学習に取り組むことができる。（今ここ）	学習の流れを意識して学習に取り組むことができる。（児・教80%）	学習の流れを意識して、学習に取り組むことができた。	90	A					81	A	A	・前期の取組を続けた。	・継続していく。		
											97	A					100

仲間と共に（思考力・判断力・表現力等の向上）	『仲間とともに』 友達と力を 含ませ、学習 したことを使っ て、主体的・ 対話的で深い 学びをする子 ども ○自分で考 え、表現する ○信頼、感謝 ○学び合い	主体的な活動	学習課題の解決に向けて主体的に取り組めるように努める。	算数科の予習を行うことで、意欲的に学習に取り組むことができる。	算数科の予習を行うことで、意欲的に学習に取り組むことができる。（児・教80％）	算数の予習（次の日の問題を書く）を毎日することができた。	76	B				児童は、算数科の予習を行うことで、意欲的に学習に取り組んでいる。	58	C	B	・問題を書くだけでなく、「算数言葉に印をつける」「イラストに色を塗る」など、意欲を持たせる工夫をした。（4年）	・継続していく。		
							71	B					85	A					
		学び合い	ICTを活用した魅力ある授業づくり	タブレット端末やパソコンを用いた学習展開の努める。	タブレット端末やパソコンを活用した学習に取り組むことができる。	タブレット端末やパソコンを活用した学習を行っている。（児・教80％）	ipadやパソコンを使った学習は楽しい。	98	A	先生は、パソコンやタブレットなどICTを活用した授業づくりに努めている。	83	A	PCやタブレットを活用した学習を積極的に取り入れている。	84	A	A	・使う機会は増えているが、これからはレベルを要求されていく。「使う」だけでなく「使い方」が問われてくる。	・何ができるのかを教師が知っておく必要がある。⇒研修が必要	
								97	A		87	A	94	A					
			理由や根拠を重視した学習展開に努める。（発表名人）	理由や根拠を重視した発表ができる。	理由や根拠を明確にした発表ができる。	学習中、理由をつけて発表ができる。（児・教80％）	学習中、理由をつけて発表することができる。	73	B				児童は、語型を意識し、理由や根拠を明確にして発表している。	86	A	B	・個人差が大きい。話すことが苦手な児童は理由をつけると意欲が下がる。（3年、6年） ・苦手な児童へは、意識して発表する機会を増やしている。（2年） ・発表の後「理由は？」と聞き返すようにしている。理由が言えるようになってきた。	いきなり発表はとてもハードルが高いので、ノートに書かせる、同じ考えの友だちと相談させるなどの活動をしてから発表させる。	
								72	B										
								89	A										
								92	A										
		未来に向かって（学びに向かう力、人間性等の育成）	『未来に向かって』 学習したことを社会と結び付け、社会に生かそうとする子ども ○夢、志、郷土愛 ○高い目標	保小中高のつながりを意識した岩美町スクラム教育の推進	早寝の習慣を身につけ、睡眠時間の確保に努める。	8時間～10時間未満の睡眠時間を確保することができる。	8時間～10時間未満の睡眠時間を確保することができる。（児・教80％）	睡眠時間（8時間～10時間）を守ることができた。	86	A	お子さまは、睡眠時間（8時間～10時間）を確保できている。	85	A	児童は、睡眠時間（8時間～10時間）を確保できている。	92	A	B	【睡眠時間】 ・睡眠時間は確保できている。 【ネット、テレビの時間】 ・友達と遊べず、家にいる時間が増えたことが原因ではないか。 ・できない児童は保護者に伝えても改善されない。 【チャレンジデー】 ・調べているとできているが、自己申告なので、実際はできていない児童がいるのではないかな。	・家庭でのことであるので、学校の指導だけでは不十分である。 ⇒保護者への啓発をしていく。
					ネットやテレビ、ゲーム等メディアとの望ましい付き合い方の習慣化を図る。（1日2時間まで）	ネットやテレビ、ゲームの時間を守ることができる。（1日2時間まで）	1日2時間までを守って、ネットやテレビ、ゲームをしている。（児・保80％）	ネットやテレビ、ゲームの時間を守ることができた。（1日2時間まで）	79	B	お子さまは、ネットやテレビ・ゲームを1日2時間以内を守って生活している。	56	C	児童は、ネットやテレビ・ゲーム等の1日2時間以内を守っている。	54	C			
77	B								58	C	17	D							
89	A								71	B	93	A							
				チャレンジデーを守ることができる。	チャレンジデーを守っている。（児・保80％）	チャレンジデーを守ることができた。	92	A	私は、チャレンジデーの取り組みに努めている。	74	B	児童は、チャレンジデーを守っている。	73	B					
地域社会とのつながりを意識した学習展開や学校行事に努める。	地域社会の一員としての自覚を持ち、ふるさととしての自覚を持っている。（児・保、教80％以上）			自分が住んでいる地域は、好きだ。	95	A	—	児童は、自分がすんでいる地域が好きである。	100	A	A	・地域へ出かける学習を通して、地域が好きになっている児童が多い。（2年）	・継続するが、質問項目をもっと深いところまで突っ込んだ内容にしてもいいのでは。						
					95	A			75	B				100	A				
学習指導要領の全実用面に係る教育内容の改善	プログラミング教育について研修を深め、プログラミング的思考の育成に努める。			プログラミング的思考を取り入れた学習の研修を行い、年1回以上の授業実践を行う。	プログラミング的思考を取り入れた授業実践を行う。（年1回以上）				プログラミング的思考を取り入れた授業実践を行う。（年1回以上）	50	C	B	・全職員が実施できた。	・継続していく。研修することで、できることを増やしていく。					
										80	A								